

# JSA 第18回 日本アロマセラピー学会学術総会

## 一般公開講座 パネルディスカッション

DATE : 2015.11.8. [ sun ] 15:00 - 17:00

PLACE : ワークピア横浜 第一会場 (おしどり・くじゃく) 神奈川県横浜市中区山下町 24-1

### CONCEPT

第18回 日本アロマセラピー学会学術総会のテーマは「基礎と臨床の調和と融合」であります。

一般公開講座では、治療におけるメディカルアロマセラピーから少し離れて、この分野の発展が予防医学や自分自身による健康維持にどの様に役立てるか?と云うテーマについて各方面の著名な方々から色々なご意見とご討論を頂きます。単なるリラクセスやリフレッシュから精油を学問と捉え、医療従事者を中心に、さらに科学的に治療学として展開する事が本学会の目的にかわりはありません。しかし精油の持つ不思議で未知数である計り知れない魅力を色々な人が知っております。健康な人も、多少心とカラダに不調を訴える人も、この分野に大きな期待を求めていることは事実であります。事実認知症の予防にアロマセラピーが良いと報道されると、街々の有名アロマセラピーショップの精油は一斉に姿を消します。セラピストは何人の方にも認知症に何が効くのですか?と問いかけられます。それくらい医療従事者の考えている以上に健康に対するアロマセラピーの期待値は高いのです。それ故アロマセラピー分野だけではなく色々な健康医療産業分野では、予防医学やセルフメディケーションに対する応用に、力を入れて取り組もうとしています。幸い神奈川県では「未病=Mt-Byoを治す神奈川県宣言」というスローガンで官民一体となり医療が単独で主導するのではなく、積極的に健康を考えた食文化や豊富な陸や水からの賜り物の受納、積極的な運動やスポーツの振興、早くから海外との交流文化の歴史のある横浜での温かみのある多業種や多方面からの社会交流や社会参加を推奨しております。さらにはヘルスケアを医療を始めとする最先端産業から俯瞰し、ビッグデータや深層学習を駆使したIT産業会の総和による個々に合わせた健康維持システムの構築などを推し進めています。単に薬の服用や食生活の制限などのお仕着せの制圧的な健康維持だけではなく、県民主導の「楽しく健康寿命をのばす取り組み」を積極的におこなっております。今回は、神奈川県を代表する方々のお話から官、学、産、民が一体となり本当の健康とは?、個々のクオリティオブライフとは?そのために各分野で何が出来るか?などを皆様にもう一度考えて頂ければと思います。

### PANELISTS

#### 【 演者 】

首藤健治 (神奈川県理事)

橋本孝之 (日本アイ・ビー・エム株式会社副会長)

近澤弘明 (近沢レース店株式会社 代表取締役社長、横浜まちづくり倶楽部副会長)

林真一郎 (株式会社グリーンプラスコ代表取締役)

塩田清二 (一般社団法人日本アロマセラピー学会理事長)

#### 【 座長 】

田中俊一 (医療法人みなとみらい理事長)

鳥居伸一郎 (医療法人社団湘南太陽会理事長)

PHOTO : 森 日出夫 [ AMANO STUDIO ]

ART DIRECTION & DESIGN : 曾根 靖裕 [ SONE YASUHIRO DESIGN Inc. ]

<http://www.aroma-jsa.jp>

JAPANESE SOCIETY OF AROMATHERAPY

ACADEMIC GENERAL MEETING

2015.11.8. WORKPIA YOKOHAMA